

# NO, 砂丘地砂防林環境整備推進協議会 地域(庄内)



## 活動地

北は月光川から南は日向川までの、おおよそ 12 km の砂丘地砂防林内

## 団体紹介

設立年月：平成9年11月（1997年）

設立の目的：先人が苦勞して植林したクロマツ林が荒廃してきているため、地域住民、子ども達と一緒に保全する目的で設立した。

組織の構成：稲川・西遊佐・高瀬地区の33集落、町議会議員、農業生産組合、農業委員、森林組合、JA庄内みどり、地域住民代表、まちづくりセンター（稲川・西遊佐）で構成している。

## 活動内容

### I 後継者を育てる為の活動

#### (1) 学校での児童（177名）に対する講話・クロマツ播種体験



(遊佐小4年生への講話)



(抵抗松の種まき)



(発芽)



(5ヶ月後の生育状況)

今年は5校が統合し、遊佐小学校となり、現場への出入りが困難な状況となり、現場体験が難しくなっている(11月松植え・12月薬剤樹幹注入体験をした)

#### (2) 野外での体験作業



(作業前の作業説明)



(松植え体験作業)



(薬剤樹幹注入体験作業)

### II、森林保全活動



(クロマツ林の下草刈り・枝打ち作業)



(ロボット草刈り機による実演)

## 活動を行っての感想

協議会の活動は、ハード面の活動がメインで有り、地域住民の協力なしでは保全活動は困難である。そのためにも、みどり環境税を有効に活用したい。